

基本事項

- ・ 笛はラリー中、常にくわえていてください
- ・ 笛は決められた笛を使用してください（基本はA・Cコート長笛 B・Dコート短笛）
- ・ 電子ホイッスルは使用してはいけません
- ・ 笛の音は大きく吹いてください
- ・ 副審は主審の補佐です。主審が困らないように助けてあげてください
- ・ タイム、メンバーチェンジの回数などを記録員に確認をして主審にジェスチャーしてください
- ・ 得点、サーブの順番を記録員と定期的に確認してください
- ・ タイム、メンバーチェンジはゲームキャプテン又は監督の要求以外は認めてはいけません（拒否して注意してください。注意後の再要求は遅延行為の反則をとってください）

試合開始までにやること

1. 目玉の確認（監督がいる場合にはサインを確認。サインがなければ監督として認めてはいけません）
2. 監督が目玉にサインをして監督ワッペンを着用しているか確認（なければ監督として認めてはいけません）
3. リベロがリベロビブスを着用しているか確認（着用していなければリベロとして認めてはいけません）
4. キャプテンがキャプテン章をつけているか確認（着用していなければ本部に報告）
5. 整列・挨拶の確認（整列及び挨拶をしていない選手は試合に参加させてはいけません）
6. 試合開始（目玉を見て正しいローテーションになっているか確認）

試合中の副審が見るべき反則など（抜粋事項）

- ・ パッシング・アウトオブポジション・タッチネット・リベロや後衛プレイヤーのブロックの反則
- ・ ボールが外部の物体や床に触れた際に主審がそれを判断出来ない場合

主審が明らかにミスジャッジをしていると気付いた時は

- ・ ラリー終了直後に審判台に駆け寄り主審に内容を伝えてください
 但し最終判断は主審に委ねてください

線審の方へ

位置

自分の担当するラインの想像延長線上でコートのそれぞれのコーナーから1～2m離れた場所に立つ

試合中に線審がジャッジするとき

1. 線審が担当するラインにボールが落下したとき又は線審の3m以内にボールが落下したとき：イン又はアウト
2. レシービングチームがアウトボールに接触したとき：ワンタッチ
3. ボールがアンテナに触れたときやサービスされたボールがネット上方の許容空間の外側を通過したとき：アンテナ外通過
4. サービスが打たれた瞬間に競技者（サーバーを除く）がコート外に踏み出していたとき
5. サーバーがジャンプサーブ及びエンドラインを踏んでサーブを打ったとき
6. ボールがネット上方の許容空間外側のネットの垂直面を通過するか、
 又はアンテナに触れたとき主審から要請があった場合、線審はその合図を繰り返さなければならない
7. 判定不能

線審ワンタッチ	ジャンプサーブ、アンテナ外通過、ラインクロスなど	線審判定不能	線審ボールアウト	線審ボールイン	こちらに記載されていないハンドシグナルは事象の起こった場所を人差し指で差してください
					